



第4回 RDD2022



RDD: Rare Disease Day
(世界希少・難治性疾患の日)
とは

写真コンテスト

応募テーマ：
“とどきますように”



RDDは、より良い診断や治療による希少・難治性疾患の患者さんの生活の質（QOL）の向上を目指して、スウェーデンで2008年から始まった活動です。毎年2月末、現在は約100カ国で開催されています。日本では2010年の東京を皮切りにして、毎年活動を少しずつ拡大しており、RDD2021は全国48箇所で公認開催されました。



QR更新



詳細は
こちらから →

応募期間 2021年11月1日から2022年1月15日

入賞作品は、2021年2月18日（金）から3月20日（日）まで、東京タワー2F FOOT TOWNに展示されます。

（すべての作品をデータ展示（予定）いたします。）

応募資格

希少・難治性疾患領域（難病）に関係がある方なら、患者さん・ご家族・友人・医療関係者・研究者などどなたでも応募できます。

- ・被写体は、必ずしも患者・家族である必要はありません。風景の写真も応募可能です。
- ・被写体はデジカメ・スマホで撮影しており、撮影したテーマに沿った作品が対象となります。
- ・作品はひとり1点で、色調やコントラストの調整、トリミングなどを施した作成も可能です。

作品について

審査員（50音順/敬称略）

荒牧英治氏（奈良先端科学技術大学院大学）
熊谷晋一郎氏（東京大学先端科学技術研究センター）
中山優季氏（東京都医学総合研究所）
本田睦子氏（難病のこども支援全国ネットワーク）

武藤香織氏（東京大学医科学研究所）
森和彦氏（日本製薬工業協会）
山口啓介氏（美術家）
和田芽衣氏（写真家）



RDD日本開催事務局 rdd@asrid.org（お問い合わせはメールでお願いします）